

市民ひろば

発行人 市民ひろば編集委員会
〒411-0858
三島市中央町3-32 小出ビル3F
代表 小野 啓一
電話：055-994-9211
shimin_hiroba@ybb.ne.jp
振替 00870-5-153264

ひろば新聞定期購読者募集
申し込みは上記連絡先へ
毎月3000部発行
年額1000円



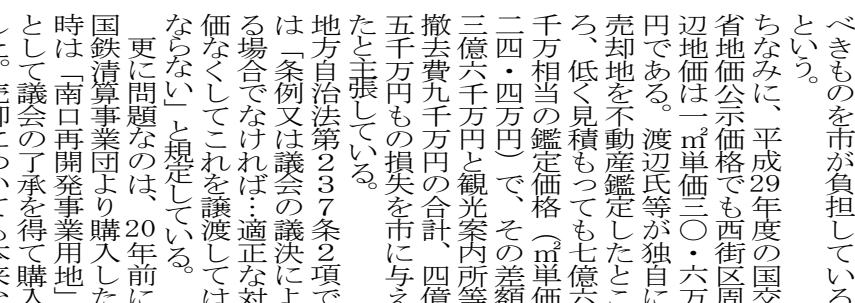
書き留めて④ あきの かずこ
画展終る路地を巡りて帰る夜ゴッホのカフェを尋ねてみたし
「ゴッホの「夜のカフェ」を思いっきり旗を掲げ旗に祈りて旗に死す旗よ静かに少年を抱けよ
「パレンテナの少作展」

西街区土地売却問題の監査請求 三島市は大丈夫なの？

1月30日 三島駅南口の整備を考ふる市民の会 代表の渡辺博氏(グランドワーク三島専務理事)が、三島駅南口西街区の開発事業をめぐる、市が土地開発公社に西街区の土地を不当に安く東急電鉄に売却させたとして、豊岡武三三島市長に対し約四億五千万円の損失補填を求める住民監査請求を行った。

渡辺氏の話では、平成9年、から四二五二一、000円(㎡単価十国鉄清算事業団から南口西街区(三・八万㎡)で買戻したものの土地を三島市土地開発公社に売却し、その差額が六億四千万円(㎡単価十三万㎡)で購入した。ところが西街区の開発事業は20年近く棚上げで、市は開発の目的が立たないとして開発公社に売却を指示した。

平成29年6月末、土地開発公社は西街区の三千四百一、000㎡を四億一、六八万円(㎡単価一・八八万円)で東急電鉄に直接売却した。ところが同日に、三島市は隣接する観光案内用地(二、六二七㎡)を東急電鉄に七、〇五万円(㎡単価二、七〇〇円)で売却している。その観光案内用地(二、〇七七㎡)は平成14年に三島市が開発公社



三島駅南口西街区

側で作って間もない公共トイレや観覧案内所の建物等の解体撤去費用約九千万円は、本来買戻しである東急が負担すべきとの意見を述べている。東急は「三島市土地開発公社より購入した国鉄清算事業団より購入した」として「南口再開発事業用地」として議会の了承を得て購入した。売却についても本来なら議会で諮り市が一旦公社から買戻し売却するのが当たり前だ。しかし、今回の売却は議会の議を経ることなく、

土地開発公社は直接売却を行った。しかも公募を一般競争入札した東急一社のみで公募しなかった。その土地開発公社による直接売却の動きとなったのは、昨年5月17日付豊岡市長から三島市土地開発公社理事長宛の依頼書からで、その内容は「西街区については、市が用地を買戻し、東急電鉄に売却する」とある。市は「東急電鉄に売却する」として「公募等による直接売却することをお願いしたい」と述べていることなどから、市長自身の指示は明白である。

問題点は、土地開発公社が直接売却することで議会のチェックを回避したことや、売却の際に公募をかけたが東急しかなく実質競争がなかった。不動産鑑定士1名のみでの鑑定評価、しかも16階の高層建築が可能になる都市計画の変更が可能な都市計画の変更

2007年に制定された「日本国憲法の改正手続に関する法律」(以下、国民投票法)はまだ一度も運用されたことのないこの法律は、内容も問題点もあり知られていない。

憲法を変えるには衆参各議院の総議員の三分の二以上の賛成を得た後、国民に憲法改正を募集(提案)し、国民投票で過半数の賛成を得る必要がある。この改正手続きを具体的に定め、その国民投票法の96条に書かれており、

この改正手続きを具体的に定め、その国民投票法の96条に書かれており、

最低投票率規定が無いと、投票率が40%の場合20%の賛成で憲法改正が成立してしまう。

また、国民投票法には、投票のやりかたに関する規定があり、

投票用紙に記入された文字が「賛成・反対」の文字で囲み投票する。今年(平成30年)6月21日以降に国民投票法が改正され、

裸の王様

政府は、今年度の防衛予算を5.2兆円に増額する決定を行った。第2次安倍政権発足後、6年連続の軍事費増額となり、過去最大の前年比増額となる見込みだ。北朝鮮のミサイル発射や中国の海洋進出を理由として、日米首脳会談でのトランプ大統領の要請に応じて高額の米軍製軍備を買い入れる方針を示した。主なものには弾道ミサイル防衛、地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」導入のための経費や航空自衛隊

の警戒管制システム改修費、離島防衛隊の強化などの経費となる。特に敵地攻撃能力を持つ長距離ミサイル導入も計画しており、もはや防衛力を超えた軍備増強の動きといえる。

多くの識者によると、迎撃ミサイルは弾丸を弾丸で撃ち落とすより更に難しく、とても実用には耐えられないという。国民の税金を搾り取って何十億円もする使えないミサイルを買ってどうするつもりなのか。北のミサイル危機を煽って無意味な避難訓練を繰り返すのと同じで、政府の正気を疑う。

一方、格差社会の広がりの中で高齢者や母子家庭の生活保護受給者は年々増加し、

平成22年以降の受給者数は二百万人を超えている。政府は軍事費予算を年々膨らます一方で、民生費や教育福祉予算を削る方向だ。

年金は削られ、貧困世帯の命綱である生活保護費削減を今年10月から実施する計画を打ち出した。その理由は「受給者以外の低所得層の消費実態と均衡させるため」とのこと。まさに取って付けた減額は、67%の世帯が影響を受けること、平均「5%削減」で、高齢者や母子家庭を抑えれば事足りる話ではないか。

また、格差社会の広がりの中で高齢者や母子家庭の生活保護受給者は年々増加し、

軍事費急増と国民生活窮乏化

多くの識者によると、迎撃ミサイルは弾丸を弾丸で撃ち落とすより更に難しく、とても実用には耐えられないという。国民の税金を搾り取って何十億円もする使えないミサイルを買ってどうするつもりなのか。北のミサイル危機を煽って無意味な避難訓練を繰り返すのと同じで、政府の正気を疑う。

一方、格差社会の広がりの中で高齢者や母子家庭の生活保護受給者は年々増加し、

平成22年以降の受給者数は二百万人を超えている。政府は軍事費予算を年々膨らます一方で、民生費や教育福祉予算を削る方向だ。

年金は削られ、貧困世帯の命綱である生活保護費削減を今年10月から実施する計画を打ち出した。その理由は「受給者以外の低所得層の消費実態と均衡させるため」とのこと。まさに取って付けた減額は、67%の世帯が影響を受けること、平均「5%削減」で、高齢者や母子家庭を抑えれば事足りる話ではないか。

また、格差社会の広がりの中で高齢者や母子家庭の生活保護受給者は年々増加し、

また、格差社会の広がりの中で高齢者や母子家庭の生活保護受給者は年々増加し、

政府は、今年度の防衛予算を5.2兆円に増額する決定を行った。第2次安倍政権発足後、6年連続の軍事費増額となり、過去最大の前年比増額となる見込みだ。北朝鮮のミサイル発射や中国の海洋進出を理由として、日米首脳会談でのトランプ大統領の要請に応じて高額の米軍製軍備を買い入れる方針を示した。主なものには弾道ミサイル防衛、地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」導入のための経費や航空自衛隊

の警戒管制システム改修費、離島防衛隊の強化などの経費となる。特に敵地攻撃能力を持つ長距離ミサイル導入も計画しており、もはや防衛力を超えた軍備増強の動きといえる。

多くの識者によると、迎撃ミサイルは弾丸を弾丸で撃ち落とすより更に難しく、とても実用には耐えられないという。国民の税金を搾り取って何十億円もする使えないミサイルを買ってどうするつもりなのか。北のミサイル危機を煽って無意味な避難訓練を繰り返すのと同じで、政府の正気を疑う。

一方、格差社会の広がりの中で高齢者や母子家庭の生活保護受給者は年々増加し、

平成22年以降の受給者数は二百万人を超えている。政府は軍事費予算を年々膨らます一方で、民生費や教育福祉予算を削る方向だ。

年金は削られ、貧困世帯の命綱である生活保護費削減を今年10月から実施する計画を打ち出した。その理由は「受給者以外の低所得層の消費実態と均衡させるため」とのこと。まさに取って付けた減額は、67%の世帯が影響を受けること、平均「5%削減」で、高齢者や母子家庭を抑えれば事足りる話ではないか。

また、格差社会の広がりの中で高齢者や母子家庭の生活保護受給者は年々増加し、

国民投票法①

知っているか? 国民投票法①

この改正手続きを具体的に定め、その国民投票法の96条に書かれており、

最低投票率規定が無いと、投票率が40%の場合20%の賛成で憲法改正が成立してしまう。

また、国民投票法には、投票のやりかたに関する規定があり、

投票用紙に記入された文字が「賛成・反対」の文字で囲み投票する。今年(平成30年)6月21日以降に国民投票法が改正され、

百千鳥

2月7日のお初午は、この日のお稲荷さんにお参りするが、狐はお稲荷さんの神様ではなく、お稲荷さんのお使いの動物なのだそう。狐は動物をお使いとして使う話はよくある▼文殊菩薩は象に乗って乗っている、七福神の一粒の寿老人は鹿を連れている。福祿寿は鶴と一緒にいる絵をよく見る。その鹿だが、奈良では春日大社のお使いとして大事にされている。一方で農作物をあらす害獣とみなされ、駆除に頭を悩ませている自治体も多い▼鹿の食害は伊豆半島の山だけでなく富士山麓にもある。三島の湧水の水源を守るのと、富士山麓の森に有志団体が毎年植林を行っているが、近年は植林した苗木が鹿に食べられる事態が頻発している。野生の鹿が増えた理由は色々あるだろうが、人間の都合で大事にされたり、邪魔にされたりして鹿も悩んでいる。三島大社にも鹿がいる。神鹿として宝物館の東側に飼われている。三島大社の祭神大山祇命にちなんで古くから飼われているものと思っていれば、そうでもないことが分かった。

平成26年12月1日号の三島市の広報によると、大正の初めに三島の呉服木綿商組合が奈良の春日大社から譲り受けて奉納したとある。

市の観光資源として考えたようだ▼三島大社に神鹿園が出来て10年近く経ったわけだ。今の様子は、地面はどろどろでぬかるんでいて鹿の住環境は極めて良くない。三島大社の神鹿園の住環境は数少ない動物園のようなものだ。鹿の住環境を整備に力を入れて、三島の観光の目玉にすることもできるだろう。

文盛堂書店

定期購読の雑誌等、配達承ります

営業時間 9:30~19:00

住所 三島市中央町2-37 (中央町商店街)

電話 055-975-4229
FAX 055-972-3319

定休日 元旦

http://www.e-hon.ne.jp/bec/SHOP52033

小坂

時計・宝飾・メガネ

時計の修理、電池交換はもちろん
お手持ちの宝石のリフォームなど
ぜひお気軽にご相談下さい

三島市本町 8-1
055-975-1345

慈眼堂 赤ひげのはりときゅう

腰・肩・膝の「いたみ」どり
3回無料

認知症・糖尿病・がんは
食事改善で
予防することが可能です
ご希望の方はお申し込み下さい

【治療時間】9:00~18:00
【休日】木・日
【住所】三島市谷田173-13-101
【TEL・FAX】055-976-8765

なぜ今、憲法改正か? 自衛隊加憲と憲法への影響など 安倍改憲の疑問に答える

シンポジウム

3月24日(土) 13:00開場 13:30開演

参加費 無料

13:00開場 13:30開演

主 催：安倍改憲の疑問に答えるシンポジウム実行委員会
連絡先：090-5009-3640(堀)

星野文昭・暁子 絵と詩展

2月16日(金)~18日(日)

【開室時間】
16日 12:00~21:00
17日 9:30~19:00
18日 9:30~17:00

富士市民文化会館 〇ゼシアター
特別展示室 〇入場無料〇

主催：連絡先 星野文昭・暁子 絵と詩展 実行委員会
080-1614-2726